

# 未来への責任を果たすために! まつばら和生市政報告



おかげ様で、4期目の当選を果たすことが出来ました。  
ご期待に応えるよう精一杯頑張っておりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

## 【平成23年上期(改選後)議会報告】

- 当選証書の付与式 4月26日
- 岐阜市議会臨時会 5月24日
- 岐阜市議会6月定例会 6月9～27日

▼改選後の臨時議会において、議長に渡辺要氏(新生岐阜)を選出。松原和生は、重量級メンバーが集まる総務委員会(財政、企画、秘書、人事、総務、税務、契約、防災、国体他を所管)の所属となりました。また、総合交通対策特別委員会の委員長に就任。経験を活かせる分野であり、活発な議論と提案の場をリードしたいと思っています。所属会派は、岐阜市を思う仲間と、新たに「市政ぎふ未来」を結成し、幹事長に就任しました。

▼6月議会では、市道松ヶ枝町湊町線(大宮町)の無電柱化推進事業など11億4千余万円の一般会計補正予算、畜産センターを都市公園に移行し指定管理者の管理とする条例改正、長良川鶴飼伝承館(通称=長良川うかいミュージアム)設置のための条例制定、教育委員会委員の選任同意など19議案と、東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書など意見書3件

が原案のとおり可決(意見書1件否決)。また、請願1件が採択されました(請願1件不採択)。

- ▼松原和生は一般質問に登壇し、●災害に強いまちづくり(◆想定の見直しと対策費用◆自らの安全を守る周知と啓発◆防災行政無線の難聴地域◆地域で助け合う体制の確立◆消防団、水防団の任務◆司令塔となる市庁舎の現状◆災害時の拠点となる新市庁舎建設◆児童生徒の安全確保)●「長良川おんぱく」の取り組み●公立高校入試制度の見直しなど、3件10項目について、質問や提案をしました。また、所属会派「市政ぎふ未来」の代表質問は信田朝次議員が担当し、●東日本大震災被災地復興支援●元気なぎふ応援基金●東海環状自動車道西回り区間の整備●第二次ぎふ市民健康基本計画とウォーキングによる健康づくり支援●B級グルメ発掘事業●子ども遊び場などについて市の姿勢を糺しました。

※詳細は、松原和生ホームページや岐阜市議会ホームページをご覧ください。また岐阜市議会ホームページでは、全ての本会議の様を生中継の他、いつでも録画中継でご覧いただくことが出来ます。

※次回、9月定例会は、9月6日(火)に開会予定です。

## 新会派を結成

改選後、信田朝次氏、石井浩二氏という様々な経歴の仲間と、岐阜市を思う気持ちで合流。新会派「市政ぎふ未来」を結成し、幹事長に選ばれました。岐阜市の未来に責任ある市政運営を基本方針とし、名前には「未来」の2文字を使いました。

岐阜市を取り巻く状況が厳しい中、変化を恐れず、現状か未来かの選択、前例や党派を超えた決断をリードしていきたいと思っています。働き盛りの若さ(46歳)に



新会派結成の記者会見(岐阜放送より)

経験(3期12年)を加え、皆様のご期待と信頼に応えるよう、精一杯頑張っておりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

## ホームページのご案内



携帯電話用サイトを開設しました。バーコードリーダー機能から是非お試しください。



<http://www.matsubara-kazuo.jp>

松原和生ホームページに、たくさんのアクセスを頂戴し有り難うございます。この紙面で伝えきれない数多くの情報を掲載していますので、是非ご覧いただきたく存じます。メールからのご意見等もお待ちしています。

## プロフィール

- 昭和39年 12月、岐阜市生まれ 山羊座・B型・たつ年
- 昭和58年 岐阜教育大学附属高等学校を卒業
- 昭和62年 愛知大学法経学部法学科を卒業
- 昭和62年 名古屋鉄道株式会社に入社  
営業推進部リーダー、岐阜支配人室係長
- 平成11年 岐阜市議会議員に初当選(34歳)
- 平成15年 岐阜市議会議員に2期目当選(38歳)
- 平成19年 岐阜市議会議員に3期目当選(42歳)
- 平成23年 岐阜市議会議員に4期目当選(46歳)  
この間、市監査委員、建設委員長、産業委員長  
全ての常任委員会委員等を歴任

### 地域にて

- 岐阜市立岐阜小学校PTA会長
- 金華自治会連合会相談役
- 金華体育振興会相談役
- 岐阜市中消防団金華分団班長
- 岐阜スポーツ少年団野球部コーチ
- 東海若手市議会議員の会副会長
- 名鉄労連岐阜地域協議会相談役
- 愛知大学同窓会岐阜支部相談役
- 民主党岐阜1区総支部副幹事長 他

### 資格

- 教員免許 高校・中学(社会)
- 総合旅行業務取扱管理者

### 家族

- 妻と長男(伊奈波中学校)・二男(岐阜小学校)の4人家族

**会派名** 市政ぎふ未来

**メンバー** 松原和生(4期) 幹事長  
信田朝次(2期) 副幹事長(政調担当)  
石井浩二(1期) 副幹事長(総務担当)

### 基本方針

- 岐阜市の未来に責任ある市政運営を行う
  - 市民にわかりやすい議会活動を展開する
- 1 **議会改革を推進するグループ**  
(議会基本条例の制定、議員定数の削減、議会の透明化...)
  - 2 **行財政改革を継続するグループ**  
(市政の改良・改善そして改革、岐阜市版事業仕訳、選択と集中...)
  - 3 **元気、安心、希望に満ちたまちづくりを提言、行動するグループ**  
(しっかりと政策を提案し、情熱をもって実現を目指す...)
  - 4 **共に学び、議論し、能力を高め合うとともに、方向を同じくする  
他党派とも協力して活動するグループ**
  - 5 **常に「市民が主役」を基本に考え、議員活動を最優先させる  
超党派のグループ**  
(国政・県政への対応は各自)

- ◆ 最大会派ではなく、最良会派を目指す
- ◆ 他市の同志議員とも連携し、情報交換、切磋琢磨に励む
- ◆ 広報活動を重視し、情報発信を積極的に展開する

岐阜市末広町12番地9 〒500-8042  
TEL(058)264-4853 FAX(058)264-4800

■E-mail [info@matsubara-kazuo.jp](mailto:info@matsubara-kazuo.jp) ■<http://www.matsubara-kazuo.jp>

### 災害に強いまちづくりに関して

Q. 想定の見直し作業と対策費用の捻出について(副市長)

A. 今年度、災害被害想定調査を実施し、地域防災計画の見直しを行う。現段階で対策費用の規模は示せないが、短期・中・長期に分け、それぞれに必要な財源措置を講ずる。

Q. 自らの安全を守る周知と啓発について(都市防災部長兼消防長)

A. 災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」「公助」の連携が重要。災害時要援護者の登録や災害情報配信サービスの利用を高めるなど、啓発に努める。

Q. 防災行政無線の難聴地域について(都市防災部長兼消防長)

A. 防災行政無線の更新整備は完了しているが、難聴地域のスピーカーの向きや音量の調整を実施する。放送内容を確認できるサービス(267-5010)の周知も図る。

Q. 地域で助け合う体制の確立について(市民参画部長)

A. 助け合いの力を実感した今回の大震災を教訓に、一人でも多く自治会や地域の各種団体に加入されるよう、今こそ加入促進に取り組み、地域力の向上を図る。



昨年の金華地区防災訓練

Q. 消防団、水防団の任務について(副市長)

A. 大規模な災害時には、消防団と水防団の力が必要であり必要な研修等を行っている。また、水防団(水防法)の活動範囲の拡大を国に働きかける。

Q. 司令塔となる市庁舎の現状について(行政部長)

A. 昭和41年に建設された市庁舎は老朽化が進み、手狭で分散しているなど、十分な状況とは言えない。今は、現状で工夫し、より安全・有効に活用できるよう努める。

Q. 災害時の拠点となる新市庁舎建設について(行政部長)

A. 東日本大震災で、災害時に行政の果たす役割の重要性が再認識されている。現在の市庁舎は前項のとおり状況であり、新庁舎の建設を検討する時期であると認識している。

Q. 児童生徒の安全確保について(教育長)

A. 各小中学校で、様々な場面を想定した避難訓練、保護者の引き渡し訓練等に努める。児童生徒の防災意識と判断力を向上させるとともに、防災マニュアルの見直しを行う。

### 「長良川おんぱく」の取り組みについて

Q. 長良川おんぱく(長良川温泉浴覧会)の効果と次年度以降も睨んだ市の支援について(商工観光部長)

A. 長良川おんぱくでは、川原町かいわいと岐阜公園周辺エリアを中心に、10月の1ヶ月間、各種の体験交流型プログラムが実施される。市の潜在的な観光資源を発掘・再発見し、観光客の増加につながることを期待している。まちづくり活動としても意義がある。県の単年度補助事業であるが、おんぱくが今後も継続されるよう、市として応援していく。



長良川おんぱく

### 公立高校入試制度の見直しについて

Q. 県で入試制度の見直しが審議されているが、中学校側の事情に精通し、県内市町村の教育長を代表して諮問会の委員である教育長の考え方は(教育長)

A. 高校の特色化選抜と一般選抜の2回とする入試制度は、平成14年度に開始された。様々な問題点も生じており、県教育委員会の諮問会が、現在の中学2年生から一本化する方向で審議中。関係者の声を大切にしながら、入試制度が公正・公平であり、入試体験が人生において有益なものとなるような制度改革を求めていきたい。



委員長を務める総合交通対策特別委員会では、本年度の活動方針を以下のよう決定。委員会で担当部長から現状報告を受け、質問や討論を行うなど活動をスタートしました。

### 1. 総合交通政策について

高齢社会、環境問題などに対応し、集約型都市構造を目指すため、バスなどの公共交通、自転車、歩行者を優先した総合交通体系の推進を図るとともに、自動車交通を含めてそれぞれの交通手段が連携した、誰もが自由に移動できる交通環境社会を実現するための調査、検討を行う。また、幹線・支線バスとコミュニティバスが連携したバスネットワークの確立に向け、幹線の強化策としてBRT(バス・ラピッド・トランジット)の導入を推進するための調査を行う。



### 2. 主要幹線道路整備について

岐阜地域の活性化や地域の社会経済の発展、都市間の連携強化や災害時の緊急輸送路の確保に不可欠である道路ネットワークの形成のため、高規格幹線道路の東海環状自動車道、地域高規格道路の岐阜南部横断ハイウェイ及び一般国道156号岐阜東バイパス第3工区、また都市計画道路長糸糸線など主要幹線道路について、早期整備に資する調査、検討を行う。



※特別委員会とは、必要に応じて特定のことから調査するために議決によって設けるもので、岐阜市議会には現在、総合交通対策、高齢・少子化社会対策、都市活性化対策、市岐商問題対策、ごみ問題・産業廃棄物不法投棄対策の5つの特別委員会が置かれています。

## 写・真・で・見・る・日・常・活・動

(((((((((((( 5月(4月25日~) ))))))))))))



(((((((((((( 6月 ))))))))))))



(((((((((((( 7月 ))))))))))))

